福剣連 居合道だより

第076号　平成24年11月 1日発行
発行　（社）福岡県剣道連盟居合部
http://iai.riai.info/
発行人　井手　友太
〒819-1132　糸島市有田36番地－1
Tel:092-322-0847
編集人　上田　武尚
〒800-0201 北九州市小倉南区上吉田2-2-16
Tel:093-473-7323

はじめに

今年のノーベル賞で京都大学の山中伸弥教授が医学生理学賞を授賞した。日本人として本当に嬉しく、そして誇らしく思う。

教授は角刈り、色黒でがっしりした肉体派。学者らしからぬ風貌にまず好感を覚えた。中・高校時代は柔道に打ち込んで心身を鍛えてきたそうな。不器用で手術が苦手、『ジャマ中とあだ名』されていたと聞いて益々親近感が湧いてきた。

何よりも彼の珠玉の一言。『９回の挫折を経験しないと１回の成功は得られない。』ホントそうだよなあ。

主な出来事

10/20　第47回　全日本居合道大会　　静岡県藤枝市

全日本剣道連盟設立60周年の記念となる第47回全日本居合道大会が、各都道府県の代表選手を静岡県藤枝市に集め盛大に開催された。この記念すべく大会の審判団に審判長として迫野康雄先生、七段の部審判として井手友太先生が参加された。

試合は、代表の3選手を段毎にﾄｰﾅﾒﾝﾄ方式で試合を行い、其々の1位2位を決める。各試合の勝者に勝ち点を与え、代表3選手の得点の合計で団体成績が決定される。この結果、団体成績及び個人成績は以下の通りとなった。

	優勝	二位	三位
団体の部	静岡県	**福岡県**	新潟県
五段の部	大西　伸和(新潟)	**井手烈太郎(福岡)**	
六段の部	松下　武人(静岡)	原田　渡(神奈川)	
七段の部	山崎　卓司(静岡)	小坂隆一郎（大分）	

（敬称略）

第47回全日本居合道大会　観戦記

平成24年10月20日（土）、抜けるような青空のもと静岡県・藤枝市、静岡県武道館において標記大会が実施された。我が福岡県代表は、堀江征男監督をはじめ、和泉修二選手（七段の部）・世利慎吾選手（六段の部）・井手烈太郎選手（五段の部）の三名が出場した。迫野審判長による指定技は3本目（受け流し）・9本目（添え手突き）・10本目（四方切り）の発表があり試合が開始された。

五段の部、井手選手は、今回初陣であり初戦は前半硬さもみられたがうまく後半をまとめ、悲願の初戦突破となった。その後は若さと勢いにまかせ、なんと決勝戦まで勝ち進んだ。決勝は、残念ながら新潟県の大西選手に1-2で敗れたが、個人二位に輝いた。

六段の部、世利選手は、初戦から安定感のある業前で順調に勝ち上がり、準決勝に進

出するも神奈川県の原田選手に 1-2 で惜敗した。

七段の部、和泉選手は、2 回戦神奈川県の森島選手を相手に切れ味鋭い業前で対戦したが 1-2 の僅差で敗れた。

大会の結果は、団体の部で、福岡県は第二位となり、12 年ぶりの上位入賞となった。(団体優勝は静岡県・三位は新潟県) 大会終了後、堀江監督は「6 月から選手、控え選手、副監督、及びコーチ陣が、一体となり稽古を積んだ成果があらわれました。また、関係各位の協力にも感謝いたします。」と話しながら満足そうな表情が印象的であった。

野田　尚徳　記

開　会　式

演武する井手選手(白)

試合を終えた 3 選手

表彰式を終えて

11・12 月の予定

11/10	剣道・居合道・杖道教士称号筆記試験	福岡市
11/17	居合道段位審査会（6・7 段）	東京都
12/ 9	居合道部錬成会/級審査会	福岡武道館

おことわり

・高知大会の試合結果及び各居合道教室のスナップ写真は、紙面の都合により来月号とさせて戴きます。